

## 発行にあたって

著者	園田 英弘
雑誌名	世界の日本研究
巻	1
ページ	3-4
発行年	1990-12-10
その他の言語のタイトル	Hakkan ni atatte
URL	<a href="http://doi.org/10.15055/00003974">http://doi.org/10.15055/00003974</a>

## 発刊にあたって

園田 英弘（国際日本文化研究センター）

このたび、国際日本文化研究センターの出版物として『世界の日本研究』が発刊されることになりました。『世界の日本研究』は読んで字の通り、世界の日本研究に関する情報を掲載するための不定期のバックナンバー・シリーズの出版物です。

具体的な内容としては、世界の日本研究機関の紹介、研究環境の報告、日本研究の新しい動向報告、各国の日本研究の歴史分析、学会員名簿紹介などなど、世界の日本研究事情に関連する情報ならなんでも掲載したいと考えています。したがって、『世界の日本研究』は日本研究の成果そのものを掲載する学術雑誌ではなく、研究活動の背景に関する情報を提供するための、一種の情報誌あるいは業界誌的な性格を持つことになります。

日文研は日本文化の国際的・学際的・総合的な研究を行うと共に、世界の日本研究を盛んにするための研究協力活動を行うことを組織目的としていますが、研究協力のための活動の一つとして、日文研に集まってきた世界の日本研究「業界」の情報を、国境を越えて世界の同じ業界の皆様と共有したいと思います。

情報の独占は、研究機関にとっては邪道です。研究は、自由で多様な情報の交換を前提にしたとき、実りあるものになると信じます。どのような研究がなされているのか、どのような組織改革がなされているのか、どのような日本研究の伝統があるのか、最近の政治情勢がどのように影

響を与えているのか。このような世界の日本研究事情についての多種多様な情報が、『世界の日本研究』に満載されることになるでしょう。

研究上のライバルや協力者についての情報は、研究のよき刺激剤であり、相互の意思の疎通の重要な道具です。『世界の日本研究』を媒介にすることによって、世界の日本研究者がお互いの存在を認識し合うようになり、世界の日本研究者の縦横な交流のネットワークが形成されることを願ってやみません。

皆様の投稿を歓迎いたします。英文あるいは日本文いずれでも結構です。次号からは原稿がある程度集まりしだい、できるだけ速やかに出版するつもりです。

1990年12月10日